

# 令和4年度無相教会本部 コロナ禍講習会実施例

各自治体の感染対策ガイドラインを確認の上、対策を行ってください。下記は対策の一例です。

## 1、募集時

### ①募集要項に関して

- A. コロナ禍でどのような対応をしているか明記する。
- B. 食事の際の感染対策が徹底できない場合は、食事が発生しない日程も検討。  
例：午後のみ開催等
- C. 宿泊が発生する場合はできる限り1人部屋を用意。用意しきれない場合などは、各自手配などの手段をとる。
- D. 感染拡大などにより中止の際の連絡方法を記載しておく。

### ②感染者もしくは発熱者が出た場合の対処方法を決めておく。

(例) 開催中…発生した場合の連絡先を把握しておく。

帰路の確保（所属寺院もしくは家族等に迎えに来てもらう）をお願いする。

講習会後…自治体等に指示を仰ぎ、会所及び濃厚接触者へ連絡をする。

## 2、申し込み後

### ①受講者・講師

- A. 健康観察票（2週間分）【資料①参照】を配布する。異常ある場合は参加を控えていただく。
- B. 抗原検査キットを配布、出発前に検査を実施していただくことも望ましい。  
※各自の健康管理の指針とするもので、A・Bは提出を求めません。
- C. 問診票【資料②参照】を配布して、当日に持参いただくのもよい。  
※参加者の連絡先の把握も可能になる。

## 3、開催時

### ①密集を避ける

例：A. 密を避けた座席指定とし、誰がどこに座ったのかを把握できるようにしておく。

※感染者が出た場合、座席によって濃厚接触者かそうでないかが決まる事がある。

B. 日程を事前に配布し、時間を見計らった行動を促す。

C. 開閉会式を短時間、もしくは省略として、参加者の密集を少なくする。

D. 配布物は、座席に事前に配布するなどして、配布の際の接触を避ける。

E. 整列位置や登壇時の立ち位置などはマーキングを利用して、適切な距離を保つ。

### ②検温

例：A. 受付時に非接触の検温を行い、37.5℃以上の方は受講を控えてもらい、公共交通機関以外での帰宅を促す。（1-②）

B. 問診票を事前配布して、受付時に回収。(2-C)

### ③会場内の対策

例：A. トイレ内の感染対策。(ペーパータオルの設置等)

B. ゴミは各自での持ち帰りを依頼する。

C. アルコール消毒を用意し、随時消毒していただく様に協力を求める。1人1本アルコールスプレーを配布することもよい。(下記写真参照)

D. 開催中は(登壇時含め)マスクの着用を必須とし、マスクは不織布のもので統一する。  
また事務局に予備のマスクを準備しておく

E. 講師交代や登壇入替のタイミングに机や椅子などの備品の消毒を行う。

F. 施設内の共用部分(ドアノブ、手すり等)は定期的に消毒を行う。

G. 換気を徹底する。(常時空調機器を使用して換気、窓や開口部を開放しての換気講習ごとに換気等)

※暖かい季節には外気温に注意して、開口部開放による室内温度の上昇に注意する。

H. 靴を脱ぐ場合は、靴袋を使用するのが望ましい。使用後の靴袋は各自で持ち帰るようアナウンスし、周知する。

I. 講師は大きな声を出さなくていいようマイク、マイクスタンドを用意しておく。

J. 終了後は、使用している机・椅子、その他備品の清掃消毒を行い会所に返却をする。

### ④食事中の感染対策

例：A. 指定席での食事とし、食事中の会話の禁止。

B. 専用エリアを設けて、可能な限りエリア内での飲食を依頼する。

※間隔を保つ、会話の禁止などを徹底するよう注意を促す。

### ⑤参加者用の注意事項を配布して注意を促すのもよい。

※体調など(疾患など)により、マスクの着用やアルコール消毒ができない場合は、本人に別途対策や代替品を用意してもらうようお願いする。

## 4、開催後

①座席表の保管 (終了後1ヵ月程度)

②問診票(2-C)の保管 (終了後1ヵ月程度)

※問診票は個人情報も記載されているため、保管処分の際には取り扱いには注意すること。

## 5、備考

第71回全国奉詠高知大会開催準備の際、京都先端科学大学 渡邊能行教授(健康医療学部長、専門分野：疫学・公衆衛生学)に大会運営アドバイザーとしてご助言いただきました。上記対策はアドバイスの一例です。

※上記以外の対策等は各自治体にご相談ください。

※上記内容へのご質問は本部までご連絡ください。

アルコールスプレーの一例  
(イメージ写真)

